

## こども部会

### 1 今年度の活動目標・目的

目的:①災害に備える取り組み

②人材育成

【不足している資源、制度について考える(ワーキングにて)】

・障害の重いこどもが身近な地域でサービスを受けられる具体的な手立ての検討

### 2 部会開催状況

① 6月 5日(木) 午後3時30分～午後5時 出席者 18名

② 7月 29日(火) 午後3時30分～午後5時 出席者 18名

③ 10月 10日(金) 午後3時30分～午後5時 出席者 13名

④ 12月 4日(木) 午後3時30分～午後5時 出席者 17名

【研修会】 令和8年1月13日(火) 午後3時30分～午後5時 出席者 25名

【ワーキング】 ① 5月16日(金) 午後3時30分～午後5時 出席者 14名

② 7月11日(金) 午後3時30分～午後5時 出席者 14名

※第3回第4回ワーキングは中止

### 3 部会の取組、実施内容

| 取組                            | 実施内容                                                                                                                                                                 |
|-------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ① 災害時の対応に関すること                | ・昨年度に引き続き、災害時について家族で話し合い<br>自助を高めるためのきっかけとなるツールの作成。<br>日頃の備えや、発災後家族それぞれの動きと状況確認のための連絡手段等、内容について意見交換を行う。                                                              |
| ② 第4期障がい児福祉計画に向けてアンケートの作成及び実施 | ・第4期障がい児福祉計画の策定を見据え保護者<br>に向けてアンケートの作成と実施。集計と分析結果<br>をもとに意見交換を行う。                                                                                                    |
| ③ 人材育成(研修の実施)                 | ・当事者ご家族からお話を伺うことで、これまでの経験やご家族の思い等を知り、支援者として必要な視点や大事にすることについて学び、今後の支援に活かしていける機会を作る。<br><br>「おやじの子育て」<br>～子育ての中で感じたこと、家族としての思い～<br>講師:加藤 利康様<br>(発達支援センターおひさま おやじの会代表) |
| ④ ワーキングの開催                    | ・支援度の高いこどもが地域で必要なサービスが受けられるための仕組み作りに関して意見交換を行う。<br>・放課後等デイサービスに向け、支援度の高いこども                                                                                          |

|  |                                                               |
|--|---------------------------------------------------------------|
|  | の受け入れにあたり整備や対応が必要なことをテーマにアンケートを実施。回答内容や連絡会議当日の意見をワーキング内で共有した。 |
|--|---------------------------------------------------------------|

#### 4 成果

○取組①について ⇒『大府市防災家庭版マニュアル』の完成

- ・発災後に家族がどう動き集合するかという切り口で災害時の対応を考えるためのツールとして作成し今年度完成に至った。作成には部会員の意見と共に昨年度 2 月に行われた、くらし部会の防災プロジェクト主催の防災フェアにて参加者から聞いた意見を参考にした。
- ・主な運用として、大府市役所ホームページにて記入例と共に掲載、おおぶ子育てガイドブック内の災害関連ページにマニュアル説明の一文と市のホームページに繋がるようQRコードを掲載する。その他、市内事業所や地域への周知を随時行っていく。

○取組②について

- ・対象者 557 名に対し 301 名から回答を得ることが出来、現状及び課題の把握をすることができた。(回答率 54%)。日常生活での困りごとや不安は「学校進学」「就職や就労支援」「こどもとの関わり方」が多かった。自由記述においては、前回同様に災害時に関する内容が多かったが、今回はそれに加え「自分のこどもの事を地域に知って欲しい」といった理解や啓発に繋がる意見が増えていた。

○取組③について

- ・昨年度に引き続き父の立場としてお話を伺った。当事者ご家族のお話を聴く機会は大変貴重な機会であり、人材育成として有効な時間を持てた。研修ではこれまで感じた子育てに対する思いや学びをはじめ夫婦の役割分担や互いを尊重し支えあう大切さについても伺うことが出来、支援者側の気づきや今後の支援の参考となるヒントが多く得られた。次年度以降もこどもに関するテーマの研修会を希望する声が多くあがっている。

○取組④のワーキングの開催について

- ・協議の中で事業所側の受け入れ状況や対象者が市町村判断ごとに異なる背景が浮き彫りになり、大府市として整理する機会の必要性について意見があがった。

⇒部会内で対象者を今より明確化できると良いという意見があり、障害児通所支援を利用する際の支給要件の確認について大府市こども若者支援課で検討した案を部会内で提示。

令和 9 年度からの変更を目指し次年度を周知期間とする。方法としては、利用者への更新案内に同封、自立支援協議会での案内や集団指導での広報等を予定。

- ・支援者側のスキルについても専門的な知識や経験のある支援者の協力を得ながら大府市全体で支援する力を向上するための仕組み作りについて意見が発展。支援者支援については、発達支援センターの役割や機能についても関わってくる内容であり、今年度中に仕組み作りへの方向性を示すことが困難となったため、第 3 回と第 4 回のワーキングは中止とした。

#### 5 課題(次年度以降の実施事項)

- ・今年度実施したアンケートにて意見の多かった「理解や交流」をキーワードに協議内容を検討。第 1 回目の部会にて部会員より意見を聞き内容を絞っていく。

- ・研修会については自立支援協議会の状況により実施を検討する。

- ・ワーキングは年間通しての実施ではなく、今後担当課と発達支援センターで事業所等からニーズ調査をしていく中で必要に応じ実施。

(タイミングとしては 8 月頃を目安に。参加者は協議内容により依頼)